

ことばの  
意味を  
学ぼう！

女子青年の  
ちかい①

神のみわざは かぎりなく  
みたまのふゆを いただきて  
父母の慈愛に はぐくまれ  
早苗の如く 生いたちぬ

●女子青年のちかい  
神のみわざは かぎりなく みたまのふゆを  
いただきて 父母の慈愛に はぐくまれ 早  
苗の如く 生いたちぬ おしえの庭に いそ  
しみて 心は高く 身は低く 真理の道を  
きわめつつ 世の人々に 幸あれと 祈りに  
みてる わが心 おみなわびを ひたすら  
に つつがなき日の よろこびを 手をと  
り あいつ わかちつつ 清らに直ぐ 朗らかに  
いざや進まん わが友よ

今月号から学ぶ「女子青年  
のちかい」は、女子青年とし  
ての心の持ち方や幸せになる  
生き方のヒントが散りばめら  
れています。

※みわざ▶行ない。  
※みたまのふゆ▶神の恵み・加護。  
※早苗▶苗代から田へ移し植えるころの稲の苗。



金剛さまは「男女の区別はするが、差別はしない。男には男の義務、女には女の義務がある」と役目の違いを申され、女性は母親としての大きな役目を与えられていること、母親の考え次第で子供が立派な人間になるかが決まることを、当時の会員によく指導されておりました。

今月から始まる女子青年のちかいを学ぶ上で、女性の務めは特に重大であるということ念頭に置きながら進めていきたいと思えます。

朝が来れば必ず夜が来ることなどの現象を見ても、この世にはどんなに文明が進んでも人間が変えることができない偉大な力が働いていることが分かります。この大自然の働きはすべて天神地祇太神様の御心の表われであり、その中で私たちは限り

ない慈愛と恵みを与えられながら、命を頂き生かされている存在です。

「人間は神から生命を頂き、祖先を通して父母より肉体を得ている」と金剛さまが申されたように、神から命を授けられたといえども、父母がいなければこの世に生を受けることはできません。父母によって産み込まれることのできるのです。

以上の真理をまず知ることが、日々生かされている有難さを感じ、感謝の心で生活する基となります。

農家の方が丹精込めて育て成長を願いながら田へと植えられた早苗のように、女子青年も神、先祖、親から大きな慈愛の中で守られ育てられてきた尊い存在であることを心得て生活していきましょう。